

広報・教育部門

応募事例名

札幌市下水道科学館のリニューアル

応募団体名)札幌市下水道河川局

<応募事例の概要>

本事例は、札幌市における下水道の知識を楽しみながら理解することを目的に、平成9年5月に開館した下水道の広報施設「札幌市下水道科学館」を、平成30年3月に展示物を更新し、リニューアルオープンしたものです。

今回のリニューアルは、開館から20年が経過し、展示物の老朽化が進んでいたことから、さらなる広報機能の向上・充実を図るため、展示物の全面的な更新を行ったものです。

<展示物の紹介>

来館者が、下水道管の調査や水質試験などを行う11種類の「おしごと」コーナーを訪ねて、下水道の世界や、市民の暮らしを守る下水道のおしごとを体験しながら学んでいくことが大きな特徴となっています。

展示内容では、汚水をきれいにする工程をゲーム感覚で学ぶ水再生プラザ運転シミュレーションや、下水道管内の点検・調査を行うテレビカメラ車の操縦など、来館者が下水道で行われているお仕事を擬似的に体験することができます。

さらに、下水道の大切な役割である浸水対策についてもイメージできるよう、音と照明で豪雨体験を演出するほか、直径約2メートルの下水道管模型では、中に入って直接触れたり、古くなった下水道管を新しくする技術を間近に見ることができます。

■PRポイント

今回のリニューアルでは、これまでの「見る・読む」タイプの多かった展示物が、実際に自分で操作して体験できるものへ生まれ変わり、CGを活用したリアルな映像等を通じて、下水道について学びながら、新たな発見や驚きを実感してもらえるものとなりました。

■具体的効果について

テレビ番組3本、新聞2紙、その他広報誌等でリニューアルについて取り上げていただき、リニューアルオープンした3月17日から3ヶ月間の来館者数は27,424人となっています。ここ数年間の年間来館者数が約40,000~45,000人で推移していたことから、非常に大きな効果が現れています。